

さまざまな資源回収

集団回収を始めてみませんか？

集団回収とは、町会やマンションなどの地域の皆さんが協力し、各家庭から出る古紙や空き缶などの資源を集め、回収業者に引き渡す活動です。お友達やご近所の方と気軽にできるリサイクル活動として、集団回収を始めてみませんか？



集団回収のメリット

- ① 回収量に応じて支払われる報奨金が、団体の収入になります。
- ② 回収した資源は団体の所有物です。持ち去りの被害にあった場合は、警察に相談できるので、持ち去り防止に効果があります。
- ③ 地域の親睦を深める良い機会になります。

登録について

区内在住の方が10世帯以上集まれば登録できます。清掃リサイクル課リサイクル担当までご連絡ください。集団回収団体としてご登録し、登録証をお渡しします。

区の支援

- ① 回収量に応じて報奨金（1kgにつき6円）をお支払いします。お支払いは年2回、6か月分をまとめて口座にお振り込みいたします。
- ② 作業補助用具として、エプロン・軍手・ビニールひも等を年1回差し上げます。
- ③ 資源の持ち去り防止用のネットや看板を差し上げます。
- ④ 資源の一時保管用として家庭用物置を貸出します。（物置の置き場所のある方に限ります）
- ⑤ 活動実績が優良な団体に対して、区長より感謝状を贈呈いたします。



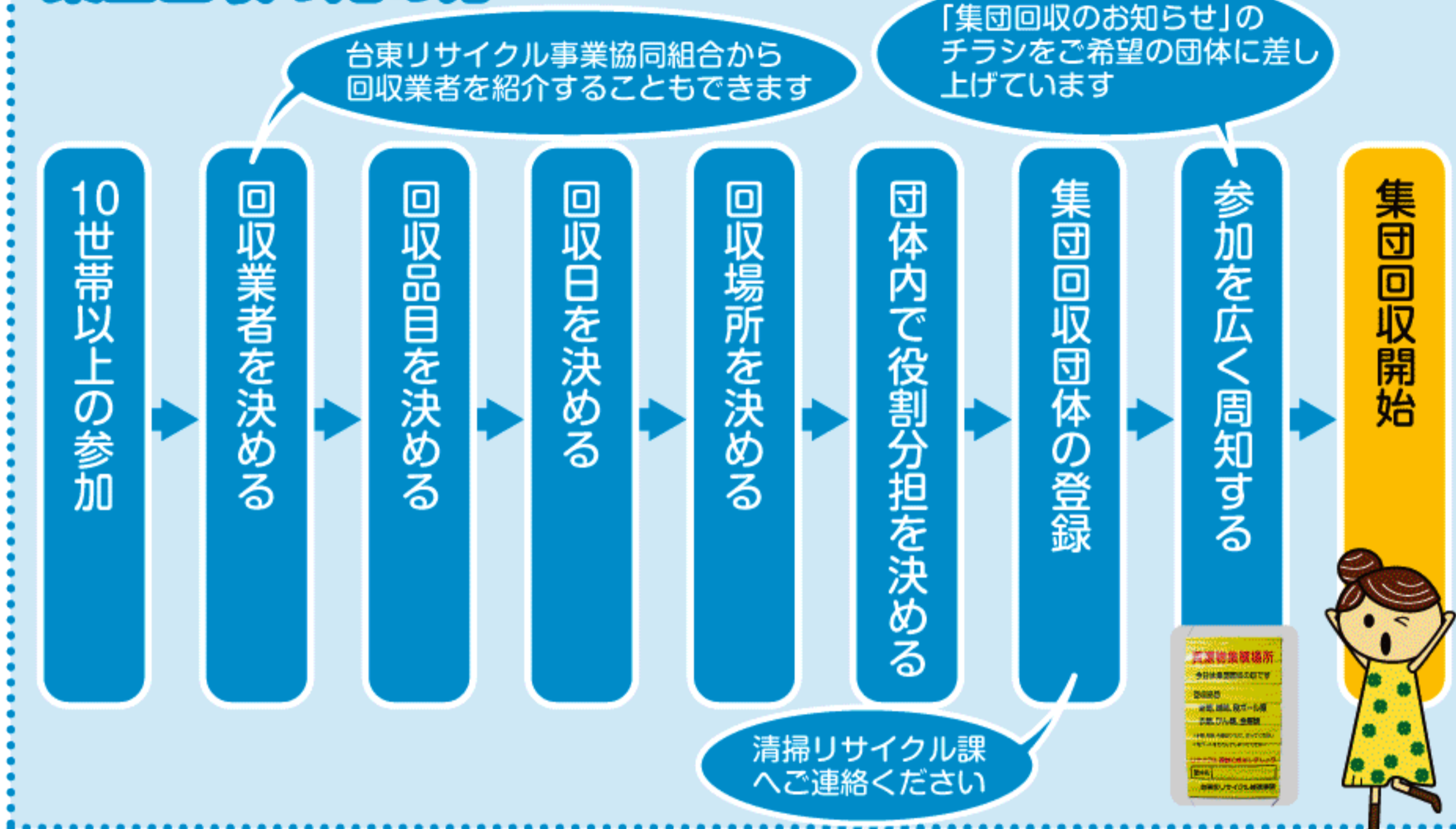
活動実績例

団体名	世帯数	回収品目	回収量 (kg)	報奨金額 (円)
A 町会	200	新聞、雑誌、段ボール、アルミ類、びん類	39,323	235,938
B 町会	360	新聞、雑誌、段ボール、古布、びん類	53,435	320,610
C マンション	47	新聞、雑誌、段ボール、アルミ類	13,928	83,568
D マンション	96	新聞、雑誌、段ボール	19,710	118,260

答え.10 >> ③ 給食一食分

日本の総合食糧自給率はおよそ40%で先進国では最低の値です。それなのに、1人1日給食1食分もの食べ残しをしているなんて。もったいないですね。

集団回収の始め方



お問合せ先 清掃リサイクル課 リサイクル担当 03 (5246) 1291

集積所回収

週1回、ごみ集積所または資源専用集積所で**古紙類・びん・缶・ペットボトル・食品発泡トレイ・食品発泡カップ**を回収しています。

古紙類は種類別（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）にひもで束ねてください。それ以外は専用のコンテナに入れてください。

回収日当日の午前8時までに出してください。夜間・早朝は迷惑となりますので、ご遠慮ください。



コンテナは品目ごとに色分けされています。びんは黄色、缶は青色、ペットボトルは緑色、食品発泡トレイと食品発泡カップは灰色のコンテナに種類ごとに分けて入れてください。回収用コンテナは、前日（月曜日回収地区は土曜日）の午後に折り畳んだ状態で設置されます。



問題.11 >> 日本の中には、あまり知られていない金の山・銀の山があります。それはどこにあるでしょう？

- ① 富士山
- ② 都市の中
- ③ 東京湾の海底

※答えは27ページにあります。

